

# MD-PhD プログラムについて

## 1. プログラム概要

MD（医師）及びPhD（医学博士）プログラム（MD-PhDプログラム）は、大学院教育を医学部在籍時（第2学年以降）から開始するプログラムである。本プログラムにおいて医学部在学中および卒業後の履修を各々前期プログラム、後期プログラムとし、履修期間は前期プログラム全体を博士課程の1年間として扱い、後期プログラムを3年間とする。後期プログラムの開始時により、コース1、コース2に分けられる。（図1）後期プログラムの開始時期は初期臨床研修終了後（卒業2年後）を原則とするが、後期臨床研修後の開始も可能とする。

図1 MD-PhD プログラム履修期間の概略

### コース1

医学部 1年	医学部 2年	医学部 3年	医学部 4年	医学部 5年	医学部 6年	MD-PhD 2年	MD-PhD 3年	MD-PhD 4年	臨床研修 (2年)
前期プログラム						後期プログラム			修了
国家試験 研究助成、RA適用									

### コース2

医学部 1年	医学部 2年	医学部 3年	医学部 4年	医学部 5年	医学部 6年	臨床研修 (2年)	MD-PhD 2年	MD-PhD 3年	MD-PhD 4年	
前期プログラム						国家試験	後期プログラム			修了
研究助成、RA適用										

## 2. 前期プログラムにおける履修内容

前期プログラムを履修する学生は、表1に示す大学院医学研究科MD-PhD募集科目の中から専攻、領域、科目を選択し、当該科目担当講座・部門において研究指導を受ける。MD-PhDプログラムにおける各科目の教育内容は、シラバス（博士課程）に掲載されている。

学生が専攻主科目の研究を行うにあたり、各講座・部門および教育研究機器センター等の施設・設備を、指導教員の下で使用することができる。ただし動物実験施設、教育研究機器センター・ラジオアイソトープ部門（RI部門）の利用にあたっては、あらかじめ所定の手続きを経て許可を受ける必要がある。

前期プログラムの終了時にプログレスレポート（A4版用紙5枚程度、様式自由）を作成し、学務課大学院係へ提出する。それを指導教員が審査し合格と判定されることをもって前期プログラムの修了とする。なお、前期プログラム終了時に、コース選択届を提出する。

表1 MD-PhD プログラムで選択可能な専攻主科目一覧

専攻	領域	科目	講座等の名称	分野等の名称
地域医療 人間総合医学	地域医療総合医学	環境保健予防医学	社会医学講座	衛生学分野
		公衆衛生学	社会医学講座	公衆衛生学分野
	人間総合医療学	法医学	法医学講座	-
		時間感染症学	物理学	-
		医学領域知的財産学	先端医療知財学講座	-
		臨床遺伝学	ゲノム予防医学講座	臨床ゲノム学分野
	発生分化・加齢制御医学	臓器発生・再生医学	再生医学研究所	組織再生学部門
神経再生医療学		再生医学研究所	神経再生医療学部門	
生体防御医学	感染防御・制御学	感染学講座	微生物学分野	
分子制御・ 器	遺伝子医学	ゲノム医科学	ゲノム予防医学講座	ゲノム医科学分野
		分子医学	免疫研究所	分子医学部門
		分子細胞生物学	生物学	-
分子腫瘍医学	腫瘍免疫学	病理学講座	病理学第一分野	
情報伝達 制御医学	神経科学	脳神経機能学	生理学講座	神経科学分野
		加齢制御薬理学	薬理学	-
	生体機能制御学	細胞機能情報学	生理学講座	細胞生理学分野
		分子医化学	生化学講座	医化学分野
		応用分子生物学	生化学講座	分子生物学分野
		免疫制御医学	免疫学研究所	免疫制御医学部門
	生体構造情報学	分子細胞機能学	化学	-
		分子病態生物学	病理学講座	病理学第二分野
		生体分子形態学	解剖学講座	細胞組織学分野
		生体機能構造学	解剖学講座	機能構造学分野
		分子細胞科学	がん研究所	細胞科学部門

### 3. 後期プログラムにおける履修内容

後期プログラムを開始する際には、前年度1月末までに後期プログラム開始届を学務課大学院係へ提出する。後期プログラムでは、通常の大学院博士課程と同様に主科目、副科目及び共通講義について必要な単位を学位論文提出までに修得する。

### 4. その他

- (1) コース（1、2）を変更する場合は、理由書を提出し、医学研究科長の許可を得る必要がある。
- (2) 前期プログラム期間中に専攻主科目の変更を希望する場合は、変更前及び後の科目指導担当教授の承認を得たのち、履修科目変更願を提出し、医学研究科長の許可を得る必要がある。
- (3) MD-PhD プログラムの修了要件、単位修得の認定方法、最終試験（学位審査）の実施、長期履修制度の適用等については、博士課程と同じである。コース選択届、コース変更理由書、履修科目変更願、後期プログラム開始届の各様式は学務課大学院係に請求し、提出すること。